



武生工業高校 入試説明会資料

2011/10/31
武生工業高校

一次試験（9月）でほぼ全員就職内定！ 進学では4名が福井大学に合格！

3月11日の東日本大震災では、福島第一原子力発電所の大変な事故もあり、原子力神話が崩れると共に、放射能は食物などいろんな形で日本全土にばらまかれているという大変な事になっています。また、世界的な不況は日本にも円高などで、復興の妨げになっています。

そんな中、高等学校の就職戦線は開始されました。今年はずでに78名の内定をいただいております、11月中には全員の内定が得られるものと思っています。

進学では昨年に続き、福井大学にAOIで4名が合格しました。



- ◆就職内定率93% (78名/84名) 10/31現在
- ◆就職進学割合 就職希望68% 進学希望32%
- ◆福井大学 昨年合格者4名 今年4名合格(AOI)
- ◆5年間で、福井大学18名、福井高専編入9名



ミッション（武工の使命）

「地域を支える心ある技術者を育成する」

ビジョン（武工の指導の柱）

- ①地域とともに歩む学校（地域に支えられ地域を支える人材の育成）
- ②豊かな心をもった生徒を育てる
（挨拶・マナーなど社会人としての資質を育てる）
- ③生徒の夢・進路希望の実現



武生工業が就職に強い理由

①環境：武生・鯖江はもの作りの企業が福井県で一番多い地域

②会社とのつながり：

武生工業卒業生、約1万名が、武生・鯖江を中心とする丹南地域の工場・地域社会・武生工業を支えています

③武生工業の進路指導体制：

- ◆1年から継続的・計画的な進路指導
- ◆インターンシップ・企業見学など勤労意識・将来像の確立
- ◆工業に関する専門知識の学習（コンピュータ・実験実習・製図）
- ◆仕事に必要な資格試験の推奨・受験
- ◆あいさつ・服装など社会人としての資質を身につける指導

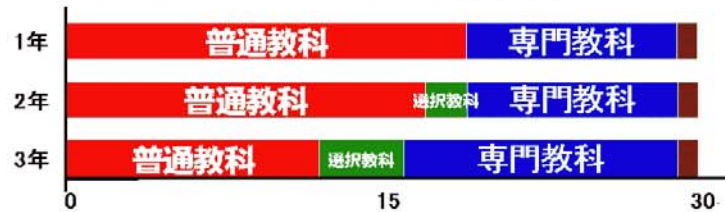




武生工業の進学体制・受験

- ◆ 2年からの数学・英語・物理の進学補習
- ◆ 高専・4大を対象とした特別補習（数学・AO入試対策）
- ◆ 大学合格後の学力向上対策

普通教科・専門教科・選択の割合



部活動を諸君の力でベスト4へ!

テニス部春季総体・新人戦3位をはじめ、野球・バレー・サッカー・バスケットなど主な種目で連日練習に励んでいます。部活動は、精神力・体力・チームワークなど人間として必要な資質を育てる場です。充実した高校生活を送るため、是非何かの部に入部し、ベスト8、ベスト4に入賞する原動力になることを期待しています。



運動部 14

野球部	バドミントン部
卓球部	バスケットボール部
柔道部	テニス部
剣道部	バレー部
弓道部	サッカー部
陸上部	ホッケー部
山岳部	ボクシング部

文化部 10

新聞部	IT・電算部
放送部	家庭部
写真部	ブラスバンド部
美術部	都市工学クラブ
建築クラブ	
工学サークル	



ホームページが新しくなりました!

武生工業高校の
進路状況・各科・クラブ等
詳しい情報は
ホームページに
記載してあります

<http://www.takefu-th.ed.jp>

The screenshot shows the school's website with a header in English and Japanese, a navigation menu, a news section with recent articles, and a 'Time Now' clock widget.

この時計は現在使用中のコンピュータの時刻を表示しています

学科・コースの紹介

■武生工業高校の特色あるカリキュラム（普通科との違い）

①専門性の高い仕事に必要な国家資格

本校で力を入れているものに資格試験があります。
社会人も受験している国家試験を授業や補習等でしっかりと指導を受けながら受験できます。
専門性の高い仕事につくには、それに携わる資格が必要であり、各科多くの国家試験に挑戦しています。各科で取り組んでいる資格詳細はホームページに掲載してあります。

②専門の理解を深める多くの実験・実習

授業の内容を理解するために多くの実験・実習をとりいれ、実際に確認しながら進めてきます。
製図・パソコン・作品製作など、実際に手足を動かして体で理解を深めることが出来ます。
また、安全に作業を進める素養も養います。

③物づくりは工業高校の原点。物づくりを通して、工業技術の本質にせまる

工業の本質は、道路・建物・電気・食品・乗り物などが生み出され、私たちの生活を支えていることです。日々、新しい物が作り出されていますが、工業高校ではそれを支える素養を課題研究などで養います。

■都市工学コース Civil Engineering

わたしたちの街を縦横に走っている道路が、どのように維持されているか知っていますか？ドライブで渡る美しい橋がどのように建設されたかわかるでしょうか？

普段何気なく使っていると気がつきませんが、日本の高い土木技術を基に土木構造物は支えられています。

都市工学コースには市民が快適な生活のできる都市造りを目指し、地図に残る仕事を勉強したい生徒が集まっています。

■特色あるカリキュラム

測量、設計、施工をベースに勉強を進め、3年生には身につけた技術を応用して、課題研究でものづくりを行います。教室の勉強と資格取得、実習を関連づけて授業を進めていきます。

測量：すべての工事に先立って行われるのが測量です。建設する構造物の水平位置や高さを正確に測定します。

施工：構造物を建設する方法を勉強します。土やコンクリートの性質、建設機械の種類を勉強してから、トンネルの掘り方やダムの造り方などを学びます。

設計：橋や建物など、壊れず安全に造るための構造計算を学びます。



■建築コース Architecture

「図面で自分が引いた線一本一本が元になって、実際に現場で建物が造られていく」

建築物の企画・設計・施工・管理等に総合的に対応できるよう基本的な知識・技能を習得します。

■特色あるカリキュラム

建築製図：設計製図の基礎・基本、CADの操作を学び、住空間を中心に自分の考えを図面に表現できる能力を習得

建築計画：建物を機能的・意匠的に、また、環境に配慮して設計するための基礎知識を習得

建築構造：木造・鉄筋コンクリート構造・鉄骨造などの建築一般構造を習得

建築設計：力のつり合いや安全な建築物を造るための計算方法などを習得

建築施工：建築工事の流れや工法を理解し、施工管理の基礎知識を習得

建築法規：安全で快適な建物を造るためのルールや手続き（建築基準法等）を習得

実習：木工・間伐・測量・材料・計画・施工などを実際に体験して専門の理解を深める。



■電気科 Electricity

私たちの豊かな生活は、インターネット・携帯電話などの通信技術、モーターなどを動かす技術などによって支えられており、電気なしでは現代の豊かな暮らしは考えられません。

電気エネルギーについて、その基礎から応用・安全な利用方法まで幅広く学習するところが電気科です。

ものづくり、実験などを体験しながら授業をすすめていきます。

また、多くの資格取得にも力を入れています。

■特色あるカリキュラム

資格取得:電気科では多くの資格取得に力を入れています。第二種電気工事士(全員)をはじめ、第一種電気工事士、工事担任者など普通科高校ではできない高度な資格に挑戦することができます。

課題研究:自分の設定したテーマに沿って、実験・研究・物づくりを進めます。1・2年で習った知識をもとに、電気の興味・関心をさらに深めていきます。

インターンシップ:武工を取り巻く多くの企業で研修を行います。電気の技能はもとより、働く意欲・資質など、社会人として必要な素養を学びます。



■工業化学科 Industrial Chemistry

身の回りにある衣類、薬品、電化製品、自動車、さらには動植物に至るまで私たちの生活に役立っているものはすべて化学物質からできています。これらの化学物質は私たちの生活になくてはならないものです。

今後、さらに私たちの生活をより豊かに、そして安全にするために、新しい技術や役に立つ化学物質を創り出していかなければなりません。

こうした技術や化学物質を生み出すために必要な知識を学び、心ある技術者として社会に貢献できる人材の育成を目標とします。

■特色あるカリキュラム

化学の技術と知識を習得するには、実際に目で見て、手を動かしての実験が非常に大切です。そのため、工業化学科では1週当たり1年生で3時間、2年生で5時間、3年生で7時間の実験時間が用意されています。

化学分野の専門科目として工業化学、化学工学、地球環境化学、化学工業を学習して、化学の基礎的知識を身につけます。さらに、高度通信情報化社会に対応できるよう情報技術(パソコン)にも重点をおき、諸分野に適応できる中堅技術者としての素養を培います。

資格の取得では、危険物取扱者、第2種電気工事士、2級ボイラー技士、乙種火薬類取扱保安責任者、ワープロ検定3級、化学分析技能検定などに取り組みます。



■電子機械科 Electrical Machinery

機械と電子・電気・コンピューターに関して実験・実習と論理的な学習の連携を図りながら学び、汗や油まみれになることもいとわず、危険を前もって予想し、予防できる能力や自然界の摂理や社会現象に思いを馳せることのできる知性や資質を育てています。

電気により制御される機械が、多くの工場で稼働しているため、このような機械を動かし、メンテナンスができる人材を育成します。また、ものを作り出す楽しみ、試行錯誤を繰り返して目標に近づく楽しみを満喫できるようにしています。

■特色あるカリキュラム

工業の基幹である機械、電気・コンピューターについて総合的に学び、技能を身につけることで、幅広い応用力を持ったエンジニアを育てることを目標にしています。

自然科学の応用である生産システム技術・機械設計などの科目で工業理論を学び、実習を通して創意工夫のあるものづくりに当たり、機械・電子機器の製作と保守の技術を学習します。

さらに、資格指導にも力を入れており、電気工事士や危険物取扱者の資格を多くの生徒が取得しています。また、ボイラー技士や旋盤の技能検定試験などにも挑戦しています。

